

中学1年	国語	矛盾
------	----	----

単元名とグローバルな文脈	探究テーマ	探究の問い	目標	学習の姿勢(ATL)	内容
「矛盾」 個人的表現と文化的表現	創造性がものの見方を広げる	事実的: どのような戒めや教訓が込められているのか。 漢文独特のリズムとはどのようなリズムか。 『矛盾』の原文と書き下し文の違いとは。 概念的: 物語の内容は、現代の事柄に置き換えることはできるだろうか。 他の故事成語を調査し、自分に当てはまる経験はあるだろうか。 議論的: なぜ現代まで故事成語は残っているのだろうか。今後も残すべきだろうか。	規準A:分析 i. テキストの重要な側面を特定し、それについて意見を述べる。 iii 例、説明、用語を使用して意見とアイデアを正当化する。 iv. テキスト内および複数のテキスト間で特徴の類似点や相違点を見いだす。 規準B:構成 i. 文脈と意図に応じた組織的構造を使用する。 iii. 執筆のフォーマットを利用して、文脈や意図に適した体裁を作成する。 規準C:創作 i. 創造的プロセスへの個人的な関わりから生じる新しいものの見方やアイデアを探究し検討しながら、思考、想像力、感受性を示すテキストを創作する。 ii. 言語的、文学的、視覚的な表現の観点から、受け手に与える影響を認識したスタイル(文体)を選択する。 規準D:言語の使用 i. 適切で多様な語彙、構文、表現形式を使用する。	コミュニケーション I. コミュニケーションスキル →相互作用を通して思考やメッセージ、情報を効果的にやりとりする。 →情報を集め、やりとりするために、言語を読み、書き、そして用いる。 思考 IX. 創造的思考スキル →今までにないアイデアを生み出し、新しいものの見方を検討する。	『矛盾』 盾と矛を売る「楚人」の、一貫しない論理を展開するおかしさと、その非合理性を指摘する「ある人」の鋭さ、そしてそれに対して男が答えられないおもしろさが簡潔にまとめられている。
◎重要概念 ○関連概念					
◎創造性 ○視点、自己表現、構成					

評価			
A 分析	B 構成	C 創作	D 言語の使用
テスト	レポート	故事成語の創作	